



国の特例による支援策

施設は困惑、利用者は負担増も

大谷市議は、通所系介護サービス事業所の収入減対策としての国の特例通知について質問。介護報酬を2区分高い介護報酬の請求が可能で、サービス利用者は負担増となります。事業所支援は利用者負担でなく公費で支援すべきです。

状況も出てきます。

事業所支援は

交付金など別の財源で

大谷市議は特例実施の事業所数と市による公費支援策の考えを質問。福祉保健部長は「事業所から説明が

むつかしいという声は聞いている。市内でこの特例を

実施している事業所は41事業所中8事業所」「支援に

ついては施設型や訪問型の介護施設もあるのでむつか

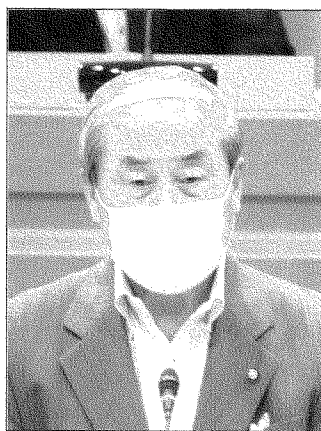
しい」と答弁。大谷市議は飯田市の例を示し検討を求

めました。長野県飯田市は通所系介護事業所に対して

独自に支援しています。（8月から令和3年3月末

までの分で約8千百万円）

新型コロナ感染症拡大の影響 通所系介護サービス事業所の収入減



新型コロナウイルス感染症の影響により介護事業所は厳しい運営が強いられています。そこで厚生労働省は特例の通知を出し、デイサービスやケアなどで、利用者が実際に利用したよりも2区分高い介護報酬を

事業所が申請することを認めました。利用者は実際には利用していないサービス分の1割を利用料として負担することになります。また限度額いっぱいの利用者の場合は、限度額を超えるので、その分はすべて自己負担になり、サービスを減らすことにもなります。この申請は利用者から文書での同意が条件です。納得できず同意しない利用者も出て、事業所の中で不公平な

徳瀬橋の架け替えは庄手川の河川整備と一体で

とくせはし

北友田3丁目浸水対策

大谷市議は「国県は対策をどのように考えているのか」質問。土木建築部長は「今回は記録的な出水で北友田3

が示された段階で、県が道路管理者として必要な対策を検討すると聞いています」と答弁。

徳瀬橋の早期の改修

部長は「南友田町の徳瀬橋の被災した橋脚は復旧せず、当面は両側の橋脚を補強し

「国の整備計画の

動きが

あれば

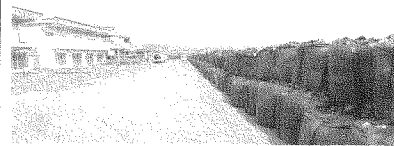
動いてい

く」と答

弁。

南友田、北友田3丁目の浸水被害 住民が安心できる災害対策に

国道300号の冠水屋入江の浸水は筑後川の外水が原因。国の治水対策



北友田3丁目、市営住宅前に積まれた大型土のう

新しい橋桁をかける復旧方法について国と協議している」と答弁。さらに部長は国が行う河川改修との一体的な橋の架け替えについては、庄手川の堤防の整備計画はないが、今後国の河川整備計画の見直しが必要となるの



通行止めが続く被災直後の徳瀬橋